

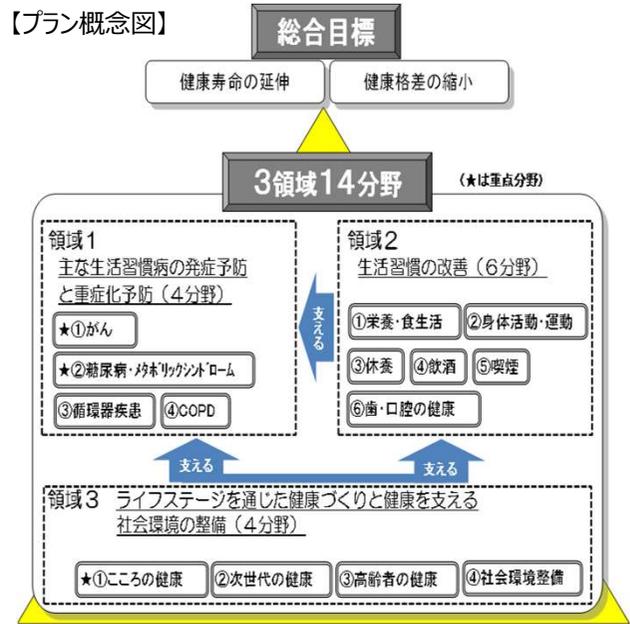
プラン2 1 (第二次) の概要

健康増進法に基づく都道府県健康増進計画（計画期間：平成25年度～令和4年度）で、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、3領域14分野にわたり具体的な目標及び指標を設定。

誰もが生涯にわたり、健やかで心豊かに暮らせる社会を目指して、生活習慣病予防や生活習慣改善の取組を展開し、平成30年度には、プラン後半の健康づくりの推進体制の充実強化を図るため、中間評価を実施。

中間評価結果	総合目標の一つである「健康寿命の延伸」をはじめ、領域ごとの分野別目標の指標は、概ね改善傾向にあったが、計画策定時から変化がない項目や悪化した項目も散見。
中間評価における課題	① 生活習慣の改善に向けた意識変容、行動変容 ② 世代や性別ごとに異なる指標の達成状況 ③ 生涯を通じて切れ目なく健康づくりに取り組むことができる社会環境
中間評価後の方向性	① 都民のヘルスリテラシー（健康情報の収集・理解・活用能力）の向上を支援 ② ライフステージやターゲット（対象）の特性に応じた施策の展開 ③ 都民一人ひとりの健康づくりを支える環境の整備

【プラン概念図】



最終評価等に向けた指標管理

【プラン2 1 (第二次) の指標数値の把握】

- プラン2 1 (第二次) 中間評価後の指標、参考指標は約60項目あり、その出典調査は多岐にわたる。
- プラン2 1 (第二次) 最終年度（令和4年度）までに最終評価を行うため、計画的に指標数値を調査・把握していく必要がある。

☞ 令和2年度に大規模な都独自調査・集計を実施し、令和3年度に最終評価、令和4年度に次期計画策定の検討を行う。

☞ 設問項目の検討は、令和2年度施策検討部会において議論する。

なお、プラン2 1 (第二次) の指標等に使用している設問は変更しない方針。その他の設問については、国の動向や社会状況の変化等を踏まえつつ、必要に応じて追加・差し替え等を検討する。

【スケジュール (案)】

		令和2年度		令和3年度		令和4年度		次期計画の推進
都	調査項目検討	調査実施	調査結果報告★	★次期任期開始	最終評価	最終評価報告★	骨子確定★ 素案確定★ ハブコメ ★最終確定 ★公表	
国				最終評価		次期計画策定		

令和2年度実施予定の調査について (2/2)

1. 都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査 ※ 今回、調査項目を議論

調査目的	プラン2 1 (第二次) の総合目標である「健康格差の縮小」を目指すため、最も身近な住民サービスの実施主体である区市町村における健康づくりの取組を支援していくための基礎データを得て、今後の健康づくり施策に活用するとともに、区市町村において、各自治体の環境条件や社会資源の状況等も考慮・検討に加えて調査結果を活用してもらうことを目的とする。
調査項目	10問程度 (詳細別紙)
計画との関連	「糖尿病・メタボ」「栄養・食生活」「身体活動・運動」「社会環境整備」分野に関連するとともに、指標等1項目の出典。

【前回調査時の概要】

調査対象：H25.10.1現在、都内（島しょ部を除く）に住む満20歳以上の日本国籍を持つ男女個人
 調査期間：H25.11.29～12.27
 調査方法：住民基本台帳による二段無作為抽出／郵送配布・郵送回収調査
 回答結果：標本数67,425人／回収数24,955人／回収率37.0%

2. 健康と保健医療に関する世論調査 → 庁内調整の結果、今年度は中止 (令和3年度に実施予定)

調査目的	こころとからだの健康づくり、飲酒の習慣など、都民の心身の健康と健康づくりに関する意識を把握し、プラン2 1 (第二次) の最終評価に資するとともに、都民の健康づくり施策を推進する際の参考とする。
調査項目	15問程度 (詳細別紙)
計画との関連	「糖尿病・メタボ」「COPD」「飲酒」「休養」「喫煙」「こころの健康」「社会環境整備」分野に関連するとともに、指標等8項目の出典。

【前回調査時の概要】

調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
 調査期間：H28.10.21～11.6
 調査方法：住民基本台帳による層化二段無作為抽出／調査員による個別訪問面接聴取法
 回答結果：標本数3,000人／回収数1,680人／回収率56.0%

3. 国民健康・栄養調査再集計 (平成28～30年分) ※ 今回、集計項目を議論

調査目的	健康増進法第10条の規定に基づき、住民の栄養状態、栄養素等摂取量及び食品摂取状況等の実態を明らかにし、健康増進対策等に関する基礎資料を得ることを目的とする。一定の標本数を確保し、統計誤差を小さくするため、3か年分の再集計を行う。
調査項目	20問程度 (詳細別紙)
計画との関連	「糖尿病・メタボ」「循環器疾患」「栄養・食生活」「身体活動・運動」「飲酒」「喫煙」分野に関連するとともに、指標等11項目の出典。

【参考】国民健康・栄養状況調査の概要

調査対象：世帯(約6,000世帯)及び世帯員(調査年11月1日現在で満1歳以上の者、約18,000人)
 ※ 都の場合、約200世帯・約500人(調査年でばらつきあり)
 調査期間：調査年の11月中
 調査方法：調査年の国民生活基礎調査において設定された単位区から層化無作為抽出／調査地区を管轄する保健所の調査員による調査